



お客様各位

SMA ジャパン株式会社

〒105-0014

東京都港区芝 3-23-1

セレスティン芝三井ビル 8 階

Tel: 03-3451-9532

Fax: 03-3451-9432

www.SMA-Japan.com

担当者	坂本 典男
電話	03-3451-9603
E-mail	Norio.Sakamoto@sma-japan.com
日付	2015 年 4 月 17 日

弊社パワーコンディショナの接地方式について

拝啓、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。早速ですが弊社対象製品の接地方式を以下に説明します。

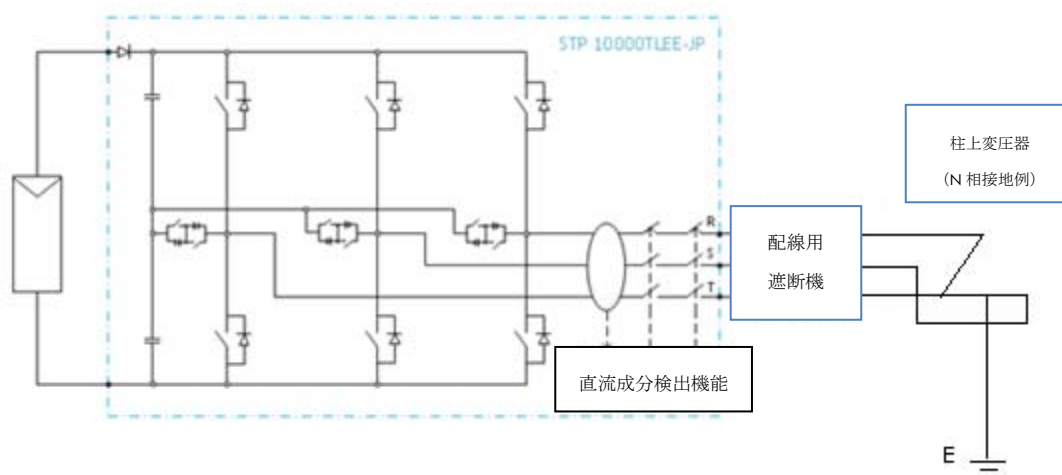
敬具

記

【対象製品】

サニートライパワー	STP10000TLEE-JP-10	(JET 認証番号:P0217)
サニートライパワー	STP10000TLEE-JP-11	(JET 認証番号:P0232)
サニートライパワー	STP10000TLEE-JP/V 0168	

【基本回路】



・SMA の 3 相パワコンは、非接地方式を採用しています。

SMA は日本で使われる小型パワコンの一般的な仕様と異なり、3 レグ構成インバータなので接地は必要ありません。

→非接地方式

【連系要件】

・「系統連系規程[JEAC9701-2012]p.44 第 2 節 低圧配電線との連系要件 2-1-1-(3)b.保護協調の目的」より、

逆変換装置の故障や混触などにより発電側から交流側に直流成分が流出するのを防止するため、適当な場所に変圧器を設置すること。

・ただし「系統連系規程[JEAC9701-2012]p.83 第2節 低圧配電線との連系要件 2-1-9-(2)変圧器
直流流出防止変圧器の省略」より、

次の条件を共に満たす場合、絶縁変圧器の設置を省略することができる。

- 1) 逆変換装置の直流回路が非接地、又は高周波変圧器を用いる場合
- 2) 逆変換装置の交流出力側に直流検出器を備え、直流検出時に交流出力を停止する機能をもたせる場合。なお、この直流検出は、逆変換装置の出力に混入される直流電流成分で検出することとし、検出レベルは逆変換装置の定格交流電流の1%以下、検出時限0.5秒以内とする。

【JET 試験】

上記対象製品ではこの機能と同等の試験 3.1.3 直流分検出試験が課されています。

【判定基準】

- イ. 直流電流を検出し、開閉器解放及びゲートブロック機能が動作すること。
- ロ. 保護レベルは、定格出力電流の1%以下であること。
- ハ. 動作時間は、0.5秒以内であること。

【SMA 見解】

パワコンと一緒に利用するモジュールが非接地式の場合 SMA のパワコンも非接地式のため、完全な非接地式システムとなり、また上記の直流成分検出機能を搭載しているため上記連系要件の1)、2)を共に満たし、低圧系統の接地方式にかかわらず絶縁変圧器の設置を省略できると考えます。

※本見解書は電力会社の判断により絶縁変圧器が必要になることもあるため、絶縁変圧器の省略を保証するものではありません。

以上

管理番号_TS140331-7